

実 行 委 員 会 企 画
「専門性を極める・紡ぐ・繋ぐ」

ご挨拶 (5202) 6 日 (土) 14 : 40 ~ 14 : 50

日本音楽教育学会会長 今 川 恭 子
岡山大学大学院教育学研究科長 三 村 由香里
第49回大会実行委員長 小 川 容 子

基調講演① (5202) 6 日 (土) 14 : 50 ~ 15 : 35 1

国際宇宙ステーションからの地球超高層大気の撮像観測と

デジタル立体地球儀による教育・アウトリーチ活動

京都大学大学院理学研究科 地球惑星科学専攻 齊 藤 昭 則

基調講演② (5202) 6 日 (土) 15 : 40 ~ 16 : 30 2

肺移植の現状

岡山大学病院 臓器移植医療センター 大 藤 剛 宏

シンポジウム (5202) 6 日 (土) 16 : 40 ~ 17 : 25 3

専門性を極める・紡ぐ・繋ぐ

京都大学大学院 理学研究科地球惑星科学専攻 齊 藤 昭 則

岡山大学病院 臓器移植医療センター 大 藤 剛 宏

司会・進行：岡山大学 小 川 容 子

常 任 理 事 会 企 画

プロジェクト研究 (5206) 6 日 (土) 13 : 00 ~ 14 : 30 4

学校と社会を結ぶ音楽教育Ⅱ

—協働的な授業のフレームワークを構築する—

話題提供：東京成徳大学 味 府 美 香

東京学芸大学 石 上 則 子

弘前大学 今 田 匡 彦

開智国際大学 小野沢 美明子

和洋女子大学 駒 久美子

東京学芸大学大学院生 中 村 昭 彦

企画・司会：開智国際大学 坪 能 由紀子

研究発表（口頭発表）

研究発表A（5301） 6日（土）9：30～11：30

司会：国府華子（愛知教育大学）・伊藤誠（埼玉大学）

A-1	人間の声の放射部位に関する検討	5
	信州大学 齊 藤 忠 彦	
	信州大学 田 島 達 也	
2	ピアノ演奏における身体の動かし方	6
	—熟達者と非熟達者の比較を通して—	
	東京藝術大学大学院生 町 村 千 織	
3	ピアノ奏者によるフレーズ構造の記述を伴う演奏表情データベースの構築	7
	相愛大学 橋 田 光 代	
4	児童は楽曲習得時のキーを覚えているか	8
	—無伴奏歌唱による検討—	
	広島県立祇園北高等学校 大 西 潤 一	
	比治山大学 緒 方 満	

研究発表B（5303） 6日（土）9：30～11：30

司会：杉田政夫（福島大学）・今田匡彦（弘前大学）

B-1	音楽教育における「内容主義」の問題について	9
	—バシユラルのイメージ論を手がかりに—	
	弘前大学大学院生 竹 尾 宗 馬	
2	カンボジア初等社会科教科書における音楽教材の有用性について	10
	広島大学大学院生 山 本 千 恵	
3	音楽教育と舞踊	11
	—身体の可能性についての考察—	
	弘前大学大学院生 小 杉 亜 衣	
4	特別活動における音楽の役割	12
	—上越教育大学附属小学校の取組から—	
	上越教育大学附属小学校 湯 澤 卓	

研究発表C（5304） 6日（土）9：30～11：30

司会：権藤敦子（広島大学）・磯田三津子（埼玉大学）

C-1	マイノリティへの教育から生成された加賀谷哲郎の音楽「療法」観	13
	—「自立活動」の目標と内容を教科学習に反映した音楽教育—	
	上越教育大学 尾 崎 祐 司	
2	British Valuesとイギリスの初等教育	14
	—Key Stage1における音楽を使った活動の果たす役割—	
	東北福祉大学 鈴 木 敦 子	
3	中国内モンゴル自治区の民族小学校における音楽教育の現状調査	15
	—赤峰市アルホルチン旗バヤンウンドゥル小学校を対象に—	
	広島大学大学院生 アル サラン	
4	The organization of 2015 national music curriculum in Korea	16
	Gyeongin National University of Education Seog Moonjoo	
	Gyeongin National University of Education Kwon Doug-won	

研究発表D (5306) 6日(土) 9:30～11:00

司会：伊藤真（広島大学）・清水宏美（玉川大学）

- D-1 変声期男子が快適に歌える合唱指導法と教材開発に関する研究（4） 17
 —カンビアータ（変声期第一段階）の声域に適合した教材開発—
 山口大学 高橋 雅子
- 2 発掘した縄文土器を使ったクロック・オーケストラ音楽づくり 18
 —クロスカリキュラムの視点から—
 國學院大學栃木短期大学 早川 富美子
 國學院大學栃木短期大学 中村 耕作
- 3 中学生の音楽表現力を向上させる工学的アプローチと言語表現に関する研究 19
 鳴門教育大学大学院生 井上 寛士
 鳴門教育大学 藤村 裕一

研究発表E (5307) 6日(土) 9:30～11:30

司会：鈴木慎一郎（鳥取大学）・三村真弓（広島大学）

- E-1 「越天楽今様」新たな視点によるアプローチを授業へ繋げる一考察 20
 —研究と公教育を結ぶ部分の現状と課題—
 神奈川県葉山町立一色小学校 畑山 美穂子
- 2 文化財保護行政との連携による郷土の伝統芸能の教材化 21
 —小倉祇園太鼓を事例として—
 九州女子大学 城 佳世
- 3 ことばと声に着目した日本伝統音楽の指導法と教材開発研究（4） 22
 —「唄う」と「語る」の特徴を意識した長唄《勧進帳》の授業プランの提案—
 長唄三味線演奏家・千葉大学 山田 美由紀
 国立教育政策研究所 志民 一成
 千葉大学 本多 佐保美
- 4 保育者養成課程「音楽表現」における学生の学びと保育的観点への転換 23
 —「振り返りシート」を用いた省察と分析の方法—
 小田原短期大学 小松原 祥子

研究発表F (5403) 6日(土) 9:30～11:30

司会：藤井浩基（島根大学）・時得紀子（上越教育大学）

- F-1 戦争期の子どもたちが歌った歌 24
 —『ウタノエホン 大東亜共栄唱歌集』の普及に関する検討—
 立命館大学 丸山 彩
- 2 大正・昭和初期の地域の子どもの文化形成における劇場の役割 25
 —熊本県山鹿市に現存する八千代座の記録と記憶をもとに—
 熊本大学 山崎 浩隆
- 3 児童を主体とした芸術文化プログラムの意義と可能性 26
 —劇場と子どもの新たな関係性を求めて—
 東京大学大学院生 大野 はな恵
- 4 淡路島の素浄瑠璃（素義）文化に関する考察 27
 —昭和20～30年代の素義会番付と稽古場に関する聞き取り調査をもとに—
 義太夫三味線奏者 向田 由美

研究発表G (5404) 6日(土) 9:30～11:30

司会：駒久美子(和洋女子大学)・小井塚ななえ(東洋英和女学院大学)

G-1	スウェーデンの1980年音楽科コースプランの特質 —生涯学習に着目して—	28	広島大学大学院生 松本進乃助
2	数字譜を用いた即興創作の可能性 —成人の学習者に対する即興的な歌づくりの指導を通して—	29	国立音楽大学大学院生 正木一輝
3	世界の音楽の指導法をめぐって —小泉文夫とP.キャンベル—	30	京都教育大学 田中多佳子 田園調布学園大学 大田美郁
4	イギリスの学校音楽科教育に対する社会的な取り組み —2010年以降の変化に着目して—	31	東京学芸大学 森尻有貴

研究発表H (5405) 6日(土) 9:30～11:30

司会：清水稔(弘前大学)・日吉武(鹿児島大学)

H-1	インドネシアにおける器楽教育の導入と普及に関する基礎研究	32	横浜国立大学 小川昌文
2	ヤマハ音楽教室幼児科における指導内容の体系化 —『幼児のオルガンの本』から『ぶらいまりー』へ—	33	東京藝術大学 小山文加 ヤマハ音楽振興会 森内秀夫
3	小規模多目的施設におけるピアノ —ヴォーリズ建築のモデルとしてのコロラド・カレッジ—	34	お茶の水女子大学 齊藤紀子
4	サウンドペインティングの音楽教育学的特質	35	神戸大学 長谷川諒

研究発表I (5407) 6日(土) 9:30～11:30

司会：寺内大輔(広島大学)・小山英恵(東京学芸大学)

I-1	音楽表現を工夫するためのリテラシー習得を目指した授業の開発 —コンピュータの歌唱表現を工夫する活動を手がかりに—	36	広島大学大学院生 長山弘 広島大学 寺内大輔
2	“あわせる”演奏技術の獲得を目指して —保育士養成校における連弾とリトミックを用いた取り組み—	37	同朋大学 疇地希美 愛知教育大学 伊藤由記衣 愛知教育大学 嶋田ひろみ 中部大学 山下千春
3	音楽あそびを通して育まれるコンピテンシーを考察する —小学3年生のリコーダーあそびの事例を通して—	38	東京学芸大学附属竹早小学校 徳富健治
4	作曲家と音楽専攻学生がかかわる音楽づくりの授業の試み	39	川崎市立南百合丘小学校 徳田崇

研究発表J (5301) 7日(日) 9:00～11:30

司会：萩原史織（東京藝術大学）・本多佐保美（千葉大学）

J-1	学習指導要領に沿った鑑賞教育の一案 —音楽療法の視点から—	40
	愛媛十全看護専門学校 十 河 治 幸	
2	複式学級の音楽指導の課題について —全国へき地教育研究連盟による研究図書及び先進校の授業提案に着目して—	41
	盛岡大学 山 口 亮 介	
3	ことばと音楽 —聾学校で行われる〈手話歌〉の問題—	42
	弘前大学大学院生 外 崎 純 恵	
4	旧ソ連が中国建国時のピアノ教育に与えた影響に関する一考察 —中央音楽学院と上海音楽学院を例として—	43
	広島大学大学院生 王 盛	
5	林光と音楽教育 —教育研究全国集会における活動および大阪音楽教育の会との関わりを中心に—	44
	大阪府立交野支援学校四條畷校 山 本 耕 平	

研究発表K (5303) 7日(日) 9:00～11:30

司会：湯澤卓（上越教育大学附属小学校）・水戸博道（明治学院大学）

K-1	人間性涵養における音楽教育の意義	45
	広島大学大学院生 辻 勇 介	
2	音楽の〈サブ・テキスト〉について —スーザン・ソントグの『反解釈』を切り口として—	46
	弘前大学大学院生 石 川 裕 貴	
3	記号論／実用論（pragmatics）が音楽教育に与える影響の考察 —デューイの芸術教育観・コミュニケーション論に関する批判的検討を通して—	47
	広島大学大学院生 齋 藤 紘 希	
4	創作行為における試行錯誤の理論化 —哲学的アプローチによる理論と創作行為の分析—	48
	弘前大学 清 水 稔	
5	共生をめざす学校教育における音楽鑑賞に関する考察 —現象学的・欲望論的芸術論を基底として—	49
	東京学芸大学 小 山 英 恵	

研究発表L (5304) 7日(日) 9:00～11:30

司会：近藤真子（オークランド大学）・小川昌文（横浜国立大学）

L-1	わざ言語論による音楽構築過程における感覚の共有の理解	50
	茨城県立下館第一高等学校 小 林 剛 志	
2	「深い学び」を実現する指導の展開 —領域・分野間の関連に着目して—	51
	東京藝術大学大学院生 田舎片 麻 未	
3	学習者の能動的な音楽理解を促す音楽鑑賞指導 —「気づき」を想定・誘発する教材研究と授業実践—	52
	目白研心中学校・高等学校 鶴 岡 翔 太	

4	深い学びを実現する鑑賞教育授業	53
	—アクティブラーニングの視点を手がかりにして—	
	東京学芸大学大学院生 茅 野 萌	
5	学校音楽を「学ぶ」ことと「教える」ことの諸相（5）	54
	—「経験されたカリキュラム」の視角から—	
	立命館大学 笹 野 恵理子	

研究発表M（5306） 7日（日）9：00～11：30

司会：阪井恵（明星大学）・甲斐万里子（上野学園大学）

M-1	DAWを活用した即興演奏の可視化と作品制作	55
	—オルゴール風のメロディー創作—	
	つくば国際短期大学 仲 条 幸 一	
2	日本の私立音楽大学における専門分野の拡大	56
	—1990年代以降に新設された専攻に着目して—	
	東京音楽大学大学院研究生 石 井 環 世	
3	楽曲を用いたソルフェージュ教育	57
	—フォルマシオン・ミュージカルの教本に着目して—	
	広島大学大学院生 伊 賀 仁 美	
4	教員養成課程におけるヴァイオリン指導の試み	58
	—過去5年間にわたる授業実践を振り返って—	
	埼玉大学 伊 藤 誠	
5	ESD的視点を取り込んだ音楽と気候との学際的連携	59
	—ヨーロッパと日本の夏の違いに注目した大学での実践を例に—	
	岡山大学 加 藤 内蔵進	
	岐阜聖徳学園大学 加 藤 晴 子	

研究発表N（5307） 7日（日）9：00～11：30

司会：林睦（滋賀大学）・山崎浩隆（熊本大学）

N-1	歌唱活動における学校教育現場と大学の研究者の連携の試み	60
	—小学校、中学校での実践を例に—	
	岐阜聖徳学園大学 村 田 睦 美	
	岐阜聖徳学園大学 加 藤 晴 子	
2	大学とホールの連携による子どものための芸術体験事業	61
	—東広島市の事例を元に—	
	エリザベト音楽大学大学院生 三 谷 晴 佳	
	エリザベト音楽大学 壬 生 千恵子	
3	音楽の授業における学校図書館司書との協働	62
	—生涯教育への接続を意識した高等学校の実践—	
	東京学芸大学附属高等学校 居 城 勝 彦	
4	コンテンポラリーダンサーが音刺激に影響されて即興で動くことに関する研究	63
	—コンテンポラリーダンサーへのインタビューをとおして—	
	広島大学大学院生 藤 井 菜 摘	
5	仕事を通じて実感される音楽を学んできたことの強み	64
	—音楽と直接関わりのない職業に就いた、音大卒業者の語りを手がかりとして—	
	東京藝術大学 船 越 理 恵	

研究発表O (5403) 7日(日) 9:00～11:30

司会：虫明眞砂子（岡山大学）・村上康子（共立女子大学）

O-1	合唱におけるピアノ伴奏の指導法に関する研究 —3つの役割を認識したピアノ伴奏の提案—	65
	敬愛中学校・高等学校 平 野 桃 子 山口大学 高 橋 雅 子	
2	小学校教員養成課程におけるピアノ未経験学生への有効的ピアノ指導実践例 —学生Aの事例を通して—	66
	就実大学・就実短期大学 伊 達 優 子	
3	筋電計を用いたピアノ重力演法の「見える化」 —シャンドール5つの基本動作による初心者と経験者の比較—	67
	東京福祉大学短期大学 高 木 麻衣子	
4	郷土の音楽をほりおこすI —中学校音楽科授業における民謡「江戸の鳶木遣」の教材性—	68
	玉川大学 清 水 宏 美	
5	日本のわらべ唄の伴奏和声 —その批判から提唱へ—	69
	元帝塚山大学 村 尾 忠 廣	

研究発表P (5404) 7日(日) 9:00～11:00

司会：吉永早苗（東京家政学院大学）・疇地希美（同朋大学）

P-1	指導言に着目した合唱指導法の一考察	70
	東京学芸大学 田 中 正 雄	
2	音楽と身体による表現の可能性 —保育者養成校における音楽表現の試み—	71
	鶴川女子短期大学 高 畠 扶 貴	
3	聴くことを意識した演奏指導について —保育者・教員養成におけるピアノ・合唱指導を通して—	72
	東京家政大学 齋 木 麻 美	
4	保育者養成におけるピアノ学習課題の克服に向けて —身体表現活動を取り入れた試み—	73
	滋賀大学大学院生 井 上 基 子	

研究発表Q (5405) 7日(日) 9:00～11:30

司会：高橋雅子（山口大学）・嶋田由美（学習院大学）

Q-1	音探索から、主体的な音表現へ —マリンバを使って—	74
	佛教大学 津 田 奈保子	
2	「子どもが歌う」という視点から幼・保の音楽活動を考える	75
	十文字学園女子大学 二 宮 紀 子	
3	幼児を対象とした「あそび」としての鍵盤ハーモニカを用いた活動開発 —音と主体的・創造的に関わる活動に着目して—	76
	東京学芸大こども未来研究所 小 田 直 弥 東京学芸大学 森 尻 有 貴	

- 4 幼稚園児の音楽的表現における動きの要素の定量的分析 77
 —動きの円滑性を中心に—
 大阪樟蔭女子大学 佐野 美奈
- 5 幼児期における拍の知覚発達 78
 —音楽聴取時の手拍子同期度による検討—
 愛知東邦大学 水野 伸子

研究発表R (5407) 7日 (日) 9:00 ~ 11:30

司会：山中和佳子 (福岡教育大学)・小松原祥子 (小田原短期大学)

- R - 1 保育者養成課程における歌唱指導 79
 —歌唱に苦手意識を持つ学生への実践から—
 小田原短期大学 前田 奈緒
- 2 3～4歳児の声域は狭いのか? 80
 —潜在的に保有する幅広い声域を、無理なく楽しく歌声の顕在化へ—
 ヤマハ音楽振興会音楽研究所 熊坂 好孝
 ヤマハ音楽振興会音楽研究所 森内 秀夫
- 3 絵譜の有用性について考える (3) 81
 —保育者への歌唱指導実践から—
 湊川短期大学 臼井 奈緒
- 4 保育士の好きな“子どもの歌”と歌わせたい“子どもの歌” 82
 東京福祉大学短期大学 本野 洋子
 東京福祉大学 岡村 弘
 久留米信愛学院短期大学 原 浩美
 東京福祉大学 赤塚 太郎
- 5 幼保小連携を意識した音楽づくりにおける教師の役割 83
 —「楽器でおはなし」の実践例を通して—
 帝京大学 田崎 教子

研 究 発 表 (ポスター発表)

研究発表S (5102) 6日 (土) 11:30 ~ 12:15

座長：古山典子 (福山市立大学)・井本美穂 (岡山理科大学)

* 奇数番号, 偶数番号ごとに責任在籍時間が異なります。

奇数番号発表者の責任在籍時間 11:30 ~ 11:50

偶数番号発表者の責任在籍時間 11:55 ~ 12:15

- S - 1 (An) Analysis on Elementary School Teachers' Innovation Configuration of 'practical application' in Music 84
 Gyeongin National University of Education graduate student Lee Ji Hyun
- 2 Music Creating in Korean Elementary School based on constructivism Perspective 85
 Gyeongin National University of Education, Doctoral student Lee Haesim
- 3 The Changes of Korean National Music Education Curriculum and Instrumental Education in the Current Curriculum 86
 Graduate School of Gyeongin Education Yang, Suryeon

4	ティート加藤直四郎の合唱に捧げた生涯 —大沼魯夫の言説から辿る日本正教会合唱指導の解明に向けて—	87
	北海道教育大学 長 尾 智 絵 イギリスUCL 城 元 智 子	
5	音楽教育が情操教育に果たす役割 —音楽を学ぶ意義に着目して—	88
	広島大学大学院生 青 木 彩絵子	
6	小林宗作の音楽教育観に関する研究 —二度の留学でJ=ダルクローズから受けた影響と小林の独自性に着目して—	89
	国立音楽大学大学院生 内 山 菜津子	
7	音楽教育関係誌にみられる20世紀前半のアメリカの音楽教育の動向 —Music Supervisors' Bulletin 及び Music Supervisors' Journalに着目して—	90
	広島大学大学院生 山 辺 未 希	
8	音環境とDOP使用の関係性についての調査研究 —大学生を対象とした質問紙調査からの考察—	91
	広島大学大学院生 前 田 智 哉	
9	地域貢献活動を通じた表現授業の考察 —事後レポートのKHコーダーによる分析から—	92
	名古屋市立大学大学院研究員 永 津 利 衣	
10	ドイツにおけるポップミュージックの授業実践とその意義 —日本の音楽科教育と比較して—	93
	愛知教育大学大学院生 杉 浦 麻莉子	
11	高等学校芸術科音楽における「創作」指導法に関する研究 —打楽器を用いた即興的な創作—	94
	島根大学大学院生 安 田 真 梨	
12	小学校音楽科における「思考を伴った試行錯誤」による音楽づくり —ICT機器を活用して「共創」を模索した試行実践—	95
	愛知教育大学 新山王 政 和	
13	小学校音楽科における「共通教材」の位置づけと指導法に関する一考察 —文部科学省学習指導要領に沿った教材性の再考を中心として—	96
	愛知教育大学大学院生 須 賀 望	
14	中学校における音楽科授業の位置づけと音楽科教員に求められる指導力 —リーダー育成を中心とした生徒のソーシャルスキル養成をめざした授業の構築—	97
	名古屋市立御幸山中学校・愛知教育大学大学院生 福 田 純 也	
15	中学校音楽科授業におけるインクルーシブ教育 —特別支援学級と通常学級の交流及び共同学習を通して—	98
	広島大学大学院生 小 川 里 菜	
16	音楽授業における歌唱用ワークシートの工夫	99
	北海道教育大学大学院生 山 内 芳 春	
17	小学校スクールバンドにおける思考力・判断力・表現力を育成する指導法	100
	東京学芸大学大学院生 稲 田 啓 人	
18	学校教育現場における合唱指導者がもつべき専門性とその育成 —アンケート調査及び現地調査に基づいて—	101
	愛知教育大学大学院生 浅 田 龍之介	

19	経験創作の活動を核とした音楽科授業の提案 —音楽教育の核となる創作活動を目指して—	102
	愛知教育大学大学院生 藤 井 愛 子	
20	現在の中国におけるピアノ教育の課題 —10代に始めた学習者向けの科学的なピアノ指導法の必要性について—	103
	エリザベト音楽大学大学院生 楊 卿	
21	音楽科教員養成課程における協働的な学びを実現する授業の在り方 —「器楽楽器演習」の取組に着目して—	104
	広島大学大学院生 明 本 遥 埼玉大学 竹 澤 栄 祐	
22	オーケストラの生涯学習活動に関する一考察 —中・高等学校のオーケストラ部活動に着目して—	105
	広島大学大学院生 杉 村 健太郎	
23	過去の音楽経験が生涯音楽学習への意識・行動に及ぼす影響 —合唱活動を中心に—	106
	広島大学大学院生 小 坂 光	
24	音楽系部活動の地域化に関する一考察 —諸外国の部活動のあり方を参考に—	107
	広島大学大学院生 新 見 瞭	
25	小中学校内におけるBGMとしての音楽利用の必要性の検討 —音環境及び音楽科教育の観点から—	108
	愛知教育大学大学院生 戸 田 南 帆	
26	中国の音楽教師資格試験にみる音楽教師像	109
	広島大学大学院生 許 于 蘭	
27	米国における高等音楽教育の組織的基盤に関する考察 —機関とアカデミック・ユニットの多様性に着目して—	110
	名古屋大学大学院生 高 木 望 帆	
28	邦人ピアノ作品についての研究 —海外から見た邦人ピアノ作品（2）—	111
	エリザベト音楽大学大学院生 長谷川 智 子	

研究発表T（5102）7日（日）12：45～13：30

座長：宮本賢二郎（浜松学芸高校）・小畑千尋（宮城教育大学）

* 奇数番号，偶数番号ごとに責任在籍時間が異なります。

奇数番号発表者の責任在籍時間 12：45～13：05

偶数番号発表者の責任在籍時間 13：10～13：30

T-1	儀式規程・儀式唱歌の制定と「正しく歌う」唱歌指導 —儀式唱歌が作った子どもの心と身体（I）—	112
	学習院大学 嶋 田 由 美 立教大学 有 本 真 紀 広島大学 権 藤 敦 子	

2	犬童球溪の作歌からみる楽曲との関わり —歌集『四季』の分析を通して—	113
	愛知教育大学 国 府 華 子	
3	子どもの遊び歌の伝播と変容 —《じゃんけんホイホイ》の旋律の変容を中心として—	114
	明治学院大学 水 戸 博 道 学習院大学 嶋 田 由 美	
4	乳幼児の聴力特性と保育室空間の音環境 —保育の場で音楽聴取に求められる環境は—	115
	同志社大学赤ちゃん学研究センター 志 村 洋 子 金沢学院短期大学 嶋 田 容 子 静岡大学 石 川 眞 江	
5	幼稚園の発表会に向けた主体性を生かした合奏づくり —4歳児の事例より—	116
	帝京平成大学 乙 部 はるひ	
6	子どもたちの視点から考える幼児期の音楽遊び —保育者の援助や環境構成を中心に—	117
	ノートルダム清心女子大学 藤 掛 絢 子	
7	保育における音楽あそびを豊かにするために —音楽的工夫と音楽的面以外の工夫に注目して—	118
	帝京大学 若 谷 啓 子	
8	幼児を対象とした呼応唱活動に関する実践的検討 —5歳児クラスの取り組みを通して—	119
	東京学芸大学 水 崎 誠	
9	能の身体性にみる幼児期の保育内容 —幼稚園年長児クラスにおける実践を通して—	120
	高知大学 金 奎 道	
10	保育現場での歌づくり実践 —幼児教育研究家 羽仁説子案を基に—	121
	大阪キリスト教短期大学 瀧 田 陽 子	
11	モンテッソーリ教育実施園における音楽活動の現状と保育者の音楽指導観 —質問紙調査をもとに—	122
	エリザベト音楽大学 藤 尾 かの子	
12	子どもたちの歌のピアノ伴奏をする保育者の視線に関する調査と一考察 静岡県立大学短期大学 山 本 学	123
13	教科横断的な資質・能力と音楽科固有の資質・能力との関連性 —文部科学省研究開発指定校の取組を中心に—	124
	広島大学 三 村 真 弓 広島大学名誉教授 吉 富 功 修 広島文教女子大学 長 澤 希 広島大学附属小学校 梅比良 麻 子	

14 「ふしづくりの教育」の実践	125
—広島市立戸坂小学校における〇譜によるリズム指導を中心として—	
広島大学名誉教授 吉 富 功 修	
広島大学 三 村 真 弓	
広島市立戸坂小学校 中 峯 悠 太	
比治山大学 緒 方 満	
15 音楽科の授業におけるプログラミング的思考力を育む実践	126
—創作活動を中心に—	
東京学芸大学附属小金井小学校 俣 山 恵	
16 我が国の音楽文化に愛着をもたせる学習指導の工夫	127
—文部省唱歌を例に—	
千葉市立千城台南小学校 星 野 友 希	
17 小学校第3学年におけるリコーダー学習の考察	128
—運指とタンギングに着目して—	
名古屋経営短期大学 南 谷 悠 子	
18 小学校学習指導要領 共通事項ア「聴き取ったことと感じ取ったことの 関わりについて考えること」の活動	129
—小学校第4学年における「白鳥」の鑑賞を通して—	
茨城県牛久市立向台小学校 飯 泉 正 人	
19 保幼小をつなぐ音楽活動の可能性	130
—和歌山のわらべうた《しょうゆどぶどぶ》を素材とした調査研究を通して—	
千里金蘭大学 伊原木 幸 馬	
20 国際バカロレア芸術（音楽）における授業構成の原理	131
—「計画」「授業」「評価」の3つのカリキュラムに焦点を当てて—	
岐阜大学 松 永 洋 介	
21 地域における児童合唱団の機能と役割	132
—質問紙による実態調査を通して—	
東京藝術大学 萩 原 史 織	
東京藝術大学 船 越 理 恵	
早稲田大学 市 川 恵	
22 子どものつぶやきを“うた”にする授業実践の展望	133
—子ども理解を深める「保育実践力の養成」の観点から—	
名古屋女子大学短期大学 白 石 朝 子	
岡崎女子大学 北 浦 恒 人	
岡崎女子短期大学 滝 沢 ほだか	
岡崎女子短期大学 平 尾 憲 嗣	
岡崎女子短期大学 伊 藤 理 絵	
23 地方における音楽アニメーションの試み	134
—音楽経験のある現職教員の活性化に資する活動—	
北海道教育大学旭川校 芳 賀 均	
24 保育者養成課程における保育内容表現の授業実践	135
—「主体的な学び」「協働的な学び」を目指した取り組みとその記録—	
帝京科学大学 飯 泉 祐美子	

25	子どもの表現を支える保育者の音楽的な資質能力とその養成（1） —保育者の「実感」に着目した聞き取り調査を通して—	136
	東洋英和女学院大学 小井塚 ななえ	
26	アンクルンを用いた授業実践の可能性 —インドネシアの歌「ジャングル」と合わせる試み—	137
	田園調布学園大学 大 田 美 郁	
27	わらべうたによる保幼小連携から接続へ —保育者と教員の意識調査から—	138
	松本大学 安 藤 江 里	
28	ドイツの器楽学習プロジェクト運営におけるニュースレターの役割	139
	広島大学 伊 藤 真	
29	知的障害のある生徒を対象とした「音楽づくり」指導プログラムの検討	140
	熊本市立託麻西小学校 土 井 美 佳	
	宮崎県立みやざき中央支援学校 吉 田 苑 子	
	熊本大学 藤 原 志 帆	
30	「小学校歌唱共通教材」における歌唱指導の検討 —初等教育科学生の自主的な歌唱への試み—	141
	兵庫教育大学大学院生 津 上 崇	

共 同 企 画

共同企画Ⅰ	プレゼンテーション&ディスカッション（北音楽棟ホール）6日（土）13：00～14：30	142
-------	---	-----

子どもは初めての人・声・歌にどのように出会うのか
—岡山の民謡体験を通して—

司会：	作陽音楽短期大学	矢 内 直 行
実践者：	岡山伝承民謡研究者	住 宅 正 人
実践者：	小ざくら保育園	年長児
コメンテーター：	くらしき作陽大学	元 吉 恵 子
	広島大学大学院生	本 岡 美保子
企画：	岡山理科大学	井 本 美 穂
	福山市立大学	古 山 典 子
	岡山大学	早 川 倫 子
	岡山県音楽教育学会	理事会

共同企画Ⅱ	パネルディスカッション（5404）6日（土）13：00～14：30	143
	音楽に関する実践知研究（3） —「知覚」「思考」「行為」—	

話題提供者：	武庫川女子大学	大 澤 智 恵
	宮崎大学	菅 裕
企画者・司会者・話題提供者：	佛教大学	高 見 仁 志
話題提供者：	東京未来大学	森 薫

共同企画Ⅲ ラウンドテーブル（5405） 6日（土）13：00～14：00 144
音楽家と音楽をつくる授業

—小学校と特別支援学校での実践をもとに—

企画・司会： 滋賀大学 林 睦
話題提供： 滋賀県立新旭養護学校 岡 ひろみ
宝塚市立末広小学校 松 原 美 保
打楽器奏者・京都市立芸術大学 可 児 麗 子

共同企画Ⅳ ラウンドテーブル（5206） 7日（日）13：30～15：00 145
音楽教育のUniversal Designを構築する

—サウンド・エデュケーションによる音楽の普遍項への立ち会い—

弘前大学 今 田 匡 彦
弘前大学教育学部附属特別支援学校、弘前大学大学院生 小 枝 洋 平
弘前大学大学院生 金 崎 惣 一
弘前大学大学院生 外 崎 純 恵

共同企画Ⅴ パネルディスカッション（5208） 7日（日）13：30～14：30 146
創意工夫を生かした「イメージ奏法」による想像力の育成

—小，中，専門学校で音楽表現向上を目指す授業の取り組み—

企画・司会者： 愛知教育大学 武 本 京 子
話題提供者：名古屋市立植田小学校 福 澤 維斗子
長久手市立北中学校 山 口 茉莉子
名古屋こども専門学校 和 沙 舞 子
指定討論者： 兵庫教育大学 木 下 千 代

共同企画Ⅵ ラウンドテーブル（5404） 7日（日）13：30～15：00 147
人が歌い・奏でることの由来と発達を考える

—『絆の音楽性』が示唆する学際的思考枠組み—

企画・司会： 聖心女子大学 今 川 恭 子
指定討論：同志社大学赤ちゃん学研究センター 志 村 洋 子
話題提供： 鳥取大学 福 山 寛 志
島根大学 源 健 宏
早稲田大学 市 川 恵
日本学術振興会 伊 原 小百合

共同企画Ⅶ ラウンドテーブル（5405） 7日（日）13：30～15：00 148
学校での音楽の教え方・学ばれ方を再考する

—身体化しているもの・していくもの・させていくもの—

進行・話題提供：東京音楽大学 加 藤 富美子
話題提供： 新潟大学 伊 野 義 博
広島大学 権 藤 敦 子

共同企画Ⅷ ワークショップ（北音楽棟ホール） 7日（日） 13：30～15：00 149
唱歌（しょうが）による楽器演奏入門体験

企画者：岡山大学 山 本 宏 子
司会：岡山大学 齊 藤 武

共同企画Ⅸ パネルディスカッション（5206） 7日（日） 15：15～16：45 150
音色と向き合い、音色と関わる器楽活動の探求（2）

—小学校の授業実践から器楽活動における身体について考える—

司会進行： 岡山大学 小 川 容 子
話題提供： 静岡大学 石 川 眞佐江
岡山大学 早 川 倫 子
共立女子大学 村 上 康 子
福岡教育大学 山 中 和佳子
指定討論： 新潟大学 伊 野 義 博

共同企画Ⅹ ラウンドテーブル（5208） 7日（日） 15：15～16：45 151
子どもの学びが見える学習指導案の形を探る

—実際の音楽科学習指導案の事例を通して—

司会・話題提供： 東京学芸大学 石 上 則 子
話題提供： イギリスUCL 城 元 智 子
オークランド大学 近 藤 真 子

共同企画Ⅺ ワークショップ・デモンストレーション（北音楽棟ホール） 7日（日） 15：15～16：45 152

ユニバーサルデザインの器楽合奏ワークショップ

—伝統楽器とテクノロジーとの共存をはかりながら—

福岡女子短期大学 壽 谷 静 香
就実大学 岡 田 信 吾
国学院大学 筒 石 賢昭山
就実大学 中 西 裕
お茶の水女子大附属中学校 中 山 由 美
北海道教育大学旭川校 芳 賀 均
就実大学 安久津 太 一

院 生 フ ォ ー ラ ム

院生フォーラム（5202） 7日（日） 12：00～13：30 153
院生のキャリアパスを考える

司会・進行：兵庫教育大学大学院生 仙 田 真 帆
グループリーダー：兵庫教育大学大学院生 高 橋 潤 子
広島大学大学院生 前 田 智 哉
島根大学大学院生 安 田 真 梨
大会実行委員担当者： 就実大学 安久津 太 一
島根大学 藤 井 浩 基